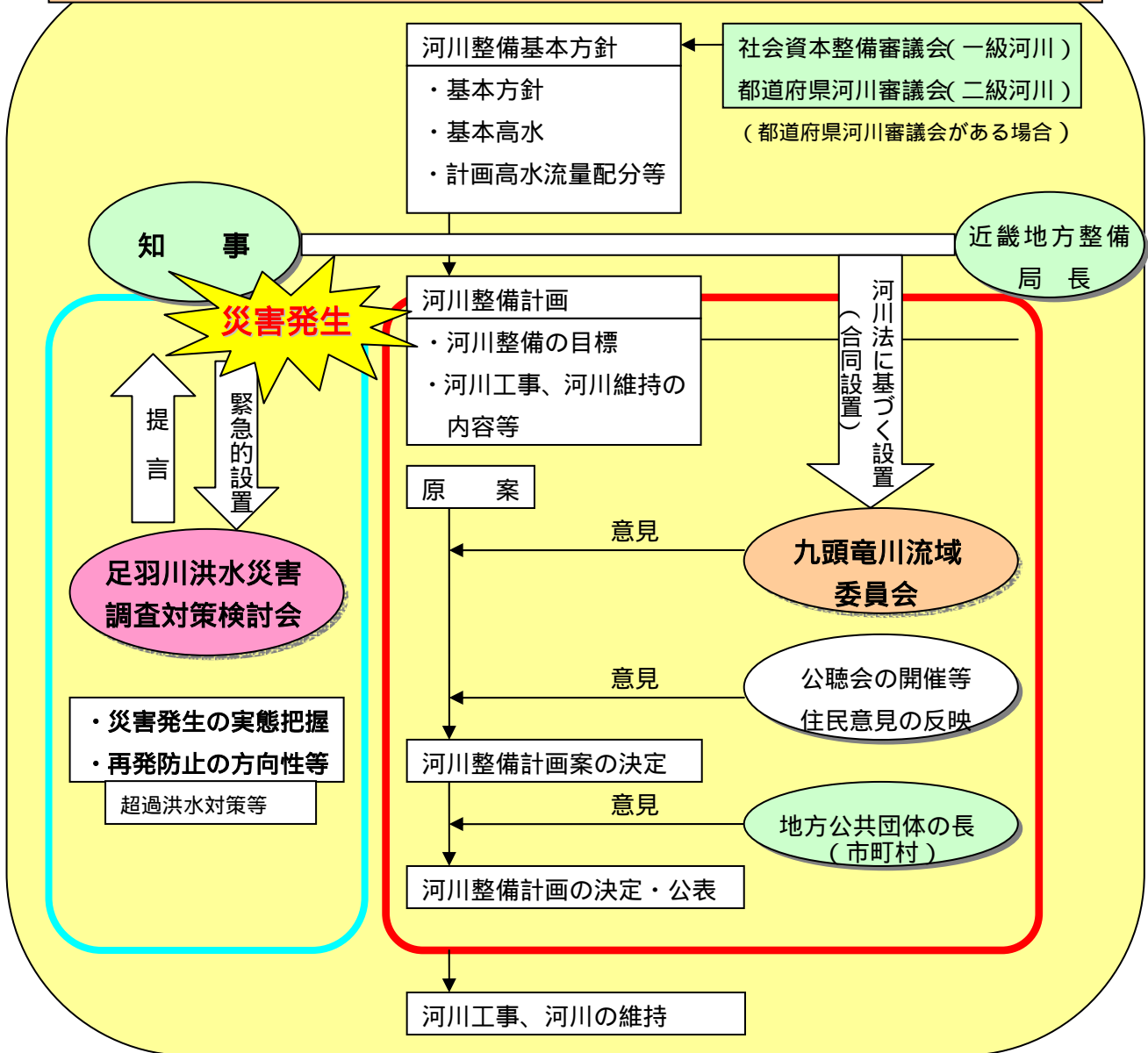


平成 16 年 7 月福井豪雨 足羽川洪水災害調査対策検討会の位置付け

今回の福井豪雨による甚大な洪水災害の発生に伴い、知事が緊急的に設置した専門家による検討会である。洪水発生から氾濫被害までの実態を把握するとともに、今後の治水対策等の方向性を検討し、知事に提言を行うものである。



今回の検討会は、審議対象を平成 16 年 7 月の福井豪雨に限っている。今回の災害の実態を把握し、河川施設や危機管理体制等の検証を行うこと、および、再度災害防止の観点から、治水対策の方向性、警戒避難対策を審議することを目的とし、とりまとめ結果については、知事へ提言を行う。

「平成 16 年 7 月福井豪雨 足羽川洪水調査対策検討会」について

今回の検討会は、審議対象を平成 16 年 7 月の福井豪雨に限っている。今回の災害の実態を把握し、河川施設や危機管理体制等の検証を行うこと、および、再度災害防止の観点から、治水対策の方向性、警戒避難対策を審議することを目的とし、とりまとめ結果については、知事へ提言を行う。

調査検討項目

洪水などの実態の把握

- ・洪水発生メカニズム（気象特性、降雨解析、洪水解析、流木の影響等）
- ・氾濫被害（氾濫区域、内水外水の分類等）
- ・破堤の経緯（水位変化、越水箇所、漏水箇所、時系列の状況把握等）
- ・堤防の状況（地質、植栽、特殊堤、護岸、復旧活動時の支障等）
- ・危機管理体制（情報伝達、警戒避難等の指示、住民行動等）

対応の検証

- ・河川施設等の現状
- ・危機管理の対応

再発防止の方向性の検討

- ・治水対策の方向性（下流 1,800 m³/s 河道を前提とした再度災害防止対策）
- ・危機管理対策

知事への提言

- ・とりまとめ結果